

研修 テーマ	生徒が主体的に学びに向かう地理歴史科の授業を目指して － 生徒の興味・関心を引き出す教材と指導法の工夫を通して －
-----------	--

模擬授業Ⅱ（授業実践Ⅱ） 第3学年地理歴史科（世界史B）学習指導案

指導月日 令和元年10月23日

所属校名 石巻市立桜坂高等学校

氏名 木村 智則

1 単元名「第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 3 フランス革命とナポレオン」

(山川出版社 高校世界史B改訂版)

2 単元の目標

フランス革命について、当時のフランスの社会的構造・経済的状況に対する理解と、社会的変革の経緯に関する考察を通して、現代の諸課題を多面的・多角的に捉える態度を養う。

3 単元観

この単元は学習指導要領の大項目「(4) 諸地域世界の結合と変容」の中項目「(ウ) 産業社会と国民国家の形成」に位置している。フランス革命直前のフランスを概観すると、絶対王政下、旧制度の限界が近づいていた。ルイ16世は王政を維持するためには各身分の利害を無視できず、それが三部会の混乱を招き、バスティーユ襲撃につながった。そこで、革命の背景として、旧制度の矛盾とブルジョワジーの成長、啓蒙思想の広がり理解させたい。また、革命の経過においても、複雑に権力構造が変化することや様々な身分が革命に参加し、革命が激化したこと、他国との干渉戦争が勃発したことなどを、イギリスの市民革命やアメリカ独立革命との比較を通して学ばせ、権力に対する世論の形成にも気付かせたい。また、ナポレオンについては、その支配がヨーロッパ全体にもたらした自由と平等の思想やナショナリズムを理解させることで、円滑に次単元のウィーン体制とヨーロッパの再編の学習につながると考えられる。以上から、この単元は、フランス革命の背景と進展、権力構造の変化、ナポレオンの登場等の題材を用いて、社会的変革の経緯を考察させ、この革命が持つ多面性を学習させることで、現代の諸課題を多面的・多角的に捉える態度を養うことができる単元であると考ええる。

4 生徒の実態 [第3学年 選択DE群選択者 女子9名]

このクラスは選択科目のため、普段交流のない生徒同士で構成されており、お互いのコミュニケーションには遠慮が見受けられる。大半の生徒は真面目に学習活動に取り組むが、社会科全般の基礎事項が未定着で、歴史科目を苦手としている生徒もあり、個別に対応が必要な場面もある。2年次に全員が世界史Aを履修しており、本単元の内容についても重要語句を中心に学習したが、考查のための学習にとどまっていた。また、学習に対する意識を調査したところ、授業以外での世界史の学習はほとんど行われていない現状があり、その理由として、「他教科の課題があるから」「中学時から覚えるものは嫌だから」という世界史に対する消極的な回答が多く見受けられた。一方で、教員の投げかけや発問に対して一定の関心を持ち、考えようという姿勢はできている。学習ではプリント等への記述に対し、自分の答えに自信がないために記入できなかった生徒もいたが、グループワーク等を積極的に取り入れた結果、少しずつではあるが、自分の考えを素直に表現できる生徒が増えている。

5 指導観

本単元では、フランス革命の背景となる旧制度と啓蒙思想の広がり、革命途中の複雑な流れをどのように理解させるかが重要である。そのため、本単元を扱うまでに、絶対王政や啓蒙思想、他国の状況が

どのようなであったかを最低限の知識としてしっかり定着させておきたい。その定着を基に、資料や絵画を用いて、フランス革命に対する生徒の興味・関心を引き出すとともに、グループワークや地図学習等を積極的に取り入れ、多角的にフランス革命を考察させたいと考えている。また、この革命は階級間の対立や議会の対立といった国内情勢の変化や、外国の干渉等、革命の全体像が複雑であり、生徒にとっては難解であるので、丁寧な学習が必要である。資料を活用しながら、年代と権力構造の変遷をプリントでまとめたり、白地図を用いてヨーロッパの状況を整理したりする等の工夫を行い、生徒がフランス革命の全体像を理解できるように援助をしたい。

6 研修テーマとの関連

本実践のテーマは、生徒の興味・関心を引き出す教材と指導法の工夫を通して、生徒が主体的に学習に向かうことのできる授業を目指すことである。本時の授業の具体的手立ては以下のとおりである。

(1) 興味・関心を引き出す教材の工夫

① 生徒の実態に即したワークシートの作成

生徒が無理なく課題に取り組むことができるワークシートを作成する。作成する際は、吹き出しの空欄を埋める課題などを準備し、生徒が感じたことを表現しやすい課題となるように発問や記入方法の工夫をする。

② 視覚資料の提示方法

導入の教材として絵画を取り上げ、本時の学習内容について興味・関心を引き出す。また、スクリーンに絵画や資料を投影する時は、色分けや拡大・縮小を利用して説明を分かりやすくすることで、生徒の積極的な学習姿勢を保つことのできる授業となるように工夫する。

(2) 興味・関心を引き出す指導法の工夫

① 当事者の立場に立った考察

フランス革命前夜の特権身分と第三身分に着目させ、それぞれの身分がどのように考えていたのか、またどのように行動したのかを個別学習やグループ学習で考えてみることで、フランス革命の多面性に気付かせる。

② 協働学習を取り入れた授業展開

発問に対しグループで考えることにより、発問に対する答えを引き出しやすくするとともに、他者の考えを知ることで生徒の興味・関心を広げる。

③ 疑問点を引き出す工夫

プリントで整理させる際に、授業中に生徒が考えたことを記入させることで、生徒の疑問を表面化し、主体的な学習につなげる。

7 単元の指導と評価の計画（5時間扱い 本時1／5）

	学習内容	学習活動における主な具体の評価規準	評価方法
第1時 【本時】	・フランスの旧制度 ・三部会の混乱	・第三身分が抱える旧制度への不満と、三部会の混乱がもたらした第三身分の団結について理解し、プリントに記入することができる。 【知識・理解】 ・グループ学習を通して第三身分の立場を推察し、プリントに記入することができる。 【思考・判断・表現】	プリント
第2時	・立憲君主政の成立	・フランス革命の開始から、立憲君主政の成立における、国民議会の役割を理解することができる。 【知識・理解】	小テスト

第3時	・干渉戦争と恐怖政治	・立法議会の成立から、テルミドールのクーデタまでについて、資料を用いて干渉戦争や革命の進展を順序立てて整理し、権力の変化をまとめることができる。 【資料活用の技能】	プリント
第4時	・革命の終結とナポレオンの登場	・ナポレオンの功績について、興味・関心を持って学習できる。 【関心・意欲】 ・ナポレオンが登場した理由について、総裁政府の混乱から考察することができる。 【思考・判断・表現】	観察 プリント
第5時	・皇帝ナポレオンとナポレオンの没落	・ナポレオンの大陸支配について地図に表し、ヨーロッパ大陸への影響をまとめることができる。 【資料活用の技能】	プリント

8 本時の計画

(1) 目標

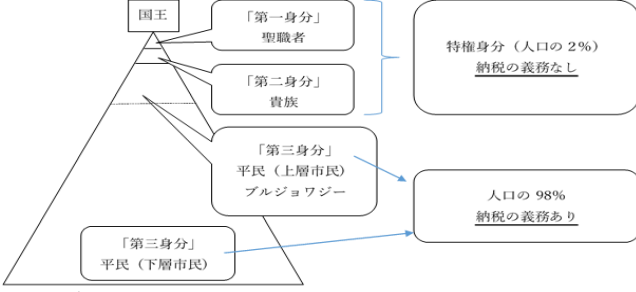
絵画を用いた考察を通じて、革命前夜の情勢における、第三身分が抱えていた旧制度への不満と、三部会の混乱がもたらした第三身分の団結について理解させる。

(2) 本時の指導に当たって

本時は、フランス革命全体を理解し、近代国民国家の形成過程を学ぶ上で基礎となる部分である。特に、第三身分が持つ旧制度への不満と、啓蒙思想の広がりについての理解は、王政を打倒し共和政へと変わっていく革命の流れを理解するためには大切である。そこで、本時では、様々なことを発想しやすい絵画を用いて生徒の興味・関心を引き出すとともに、グループワーク等を通して各身分の考えや行動を考察することで、生徒が旧制度に対する不満や第三身分の団結を理解できるような工夫をしたい。また、スクリーンの絵を部分的に拡大する等の方法によって、群像の中に描かれている人物の様子を捉えやすくするなど、資料の提示方法を工夫する。

(3) 指導過程

段階	学習活動と主な発問 (●予想される生徒の反応)	形態	指導上の留意点	評価
導入 5分	1 本時の学習課題を知る。 本時の課題：革命前のフランスで何が起きていたか。 これはフランス革命が起きる直前、一か月前のある出来事を表している絵です。この絵の人達はどんな様子ですか。 ●プリントQ1欄に記入する。 ・手を挙げている。 ・肩を組んでいる。 ・喜んでいる。 ・盛り上がっている。 ・真ん中の人がある話を話している。	一斉	『球戯場の誓い』をスクリーンに投影する。 特権身分と第三身分で異なる内容のプリントを無作為に配る。 スクリーンの絵を部分的に拡大したり、印を付けたりすることで、人々の様子をつかみやすいように支援する。	

	実際にこの絵に描かれたのが、どのような人々で、どのような場面なのかを理解するために、フランス革命直前の様子について学習していきましょう。			
展開① 10分	2 旧制度と第三身分の不満について理解する。 まずは、革命直前のフランスの社会の状況について確認をします。 (1) 旧制度を理解する。 当時フランス社会にはどのような身分の人がいましたか。これまでの学習を思い出して挙げてみましょう。 ● (回答) 国王・貴族・聖職者・農民・商人  ● 身分階層図と風刺画に関する教師の説明から、特権身分と第三身分の関係を理解する。 (2) 第三身分の不満を理解する。 ● プリントQ 2 欄に記入する。 (A) 旧制度のもとであなたが第三身分だったら、このような納税のやり方についてどのように思いますか。 (B) 旧制度のもとであなたが特権身分だったら、このような納税のやり方についてどのように思いますか。 (A): 不公平だ・不平等だ・不満だ (B): そのままでいい・生活を変えたくない ● (A), (B) それぞれ数名発表する。 ⇒ 意見が違うことに気付く。 ● 特権身分と第三身分で分かれて座り直す。 3 第三身分の団結の過程を理解する。 (1) プリントで革命前のフランス国内の情勢を理解する。 ・ルイ14世以降、対外戦争を積極的に行ったこと	一 斉 個 別 一 斉 個 別	生徒の発言に合わせ、当時の服装を紹介して、特権階級と第三身分の生活ぶりの違いを意識させる。 階層図をスクリーンに投影する。 説明はポイントを絞る。 風刺画をスクリーンに投影する。 特権身分の生活は、納税義務のある第三身分に支えられていたことを強調する。 生徒にはお互いの発問が(A)と(B)に分かれていることは伝えず、それぞれで考えさせる。 「なぜ意見が違うのだろうか?」と問いかけ、考えていた立場が違うことを明らかにする。(A), (B)それぞれの意見を再度確認する。 簡潔に説明する。ナント勅令の廃止によるユグノー	第三身分が抱える旧体制へ

	ここに集まった人々は誰に、何を主張したいのでしょうか。グループで話し合い、真ん中の人物のセリフを考えてみましょう。 ●プリントのセリフ部分に記入する。 ・平等にして欲しい。 ・特権身分に対して、話を聞いて欲しい。 ●グループの代表者が発表をして、第三身分が団結したことを確認する。	グループ	発問以外の疑問もグループで話題に出すように促す。 第三身分が団結して変化を求めていることを強調する。	グループ学習を通して第三身分の立場を推察し、プリントに記入することができる。
	本時のポイント：革命前のフランスでは、第三身分が団結し、改革が始まろうとしていた。			
	この絵には第三身分の他に聖職者や貴族も描かれています。なぜでしょうか。 ●教師の説明により、革命に加わった人々の多様な側面について知る。 ・特権身分の人も合流していること。 ・啓蒙思想に刺激を受けた特権身分の一部は第三身分と一緒に行動していること。	一斉	なぜ特権身分も合流しているか、啓蒙思想について簡単に復習し、特権身分の中にも改革を望んでいた人々がいたことを確認させる。	【思考・判断・表現】 (プリント)
まとめ 5分	4 本時のまとめと次時の予告 ●プリントのまとめ欄に記入する。 ●次時の学習課題を知る。 ・絵の上部で覗いている人々（パリの市民）について触れ、革命の機運の高まりと革命の勃発について次時に学習することを伝える。	個別 一斉	絵についての疑問や授業の説明についての疑問点も記入させる。	

(4) 本時の評価

評価の観点	具体的評価規準	Aとする具体的な姿
知識・理解	第三身分が抱える旧制度への不満と、三部会の混乱がもたらした第三身分の団結について理解し、プリントに記入することができる。	フランス革命の背景が、旧制度に対する民衆の不満と財政の行き詰まりであることが分かり、不満の理由や球戯場の誓いが成立する過程、啓蒙思想の広がり等を結び付けて、プリントに学習内容を整理することができる。
思考・判断・表現	グループ学習を通して第三身分の立場を推察し、プリントに記入することができる。	特権身分と第三身分の両方の立場を当時の状況から推察し、第三身分の行動がフランス革命にどのようにつながっていくかをプリントに記入することができる。

(5) 準備物等

- ① 教員：教科書、資料集、教材プリント、タブレット
- ② 生徒：教科書、資料集、ノート

革命前のフランスで何が起きていたのか

※ Q.4記入用の
吹き出し

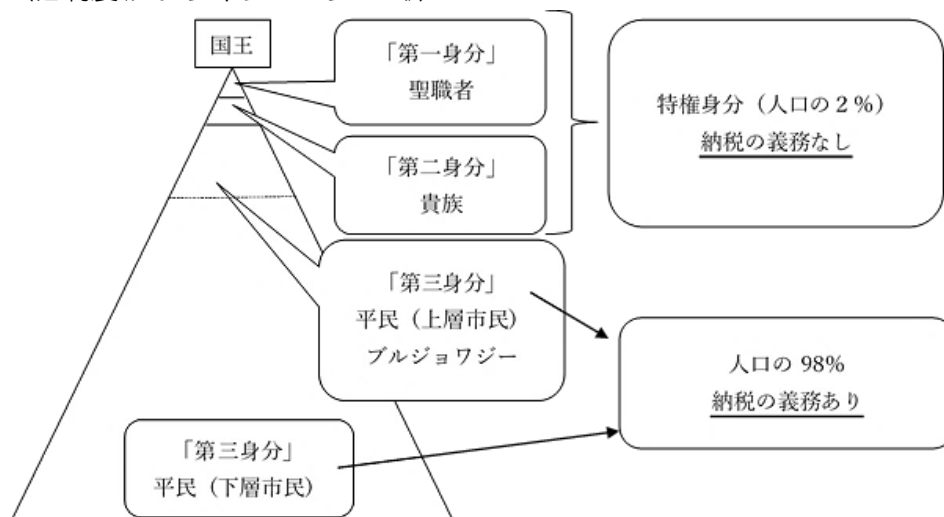
※ 絵画（ダヴィッド 『テニスコート（球戯場）の誓い』）

『テニスコート(球戯場)の誓い』

【Q.1 絵の人達はどんな様子でしょうか】

A.

〈旧制度(アンシャン・レジーム)〉



※ 革命前の社会に
関する風刺画
(第一・第二身分を
背負う第三身分の
図)

【Q.2 あなたが特権身分だとしたら、このような納税のやり方についてどのように思いますか】

A.

〈フランスの国内情勢〉

- ・ルイ14世以降の度重なる対外戦争 = 財政難

⇒国王ルイ16世の財政改革 = 【 】への課税

・・・特権身分【 】、第三身分【 】

- ・特権身分が全国三部会の開催を要求する。

全国三部会〈第一身分 300人 第二身分 300人 第三身分 600人〉

【Q.3 あなたが特権身分の代表なら、どのような決め方をすれば自分が納税しないで済むか】

A.

・・・最終的に三部会は【 】で決めることになった。

【Q.4 絵の中の人々は、誰に対して、何を主張しているのでしょうか】

・・・左の絵の吹き出し部分に記入しましょう。

【まとめ：革命前のフランスで何が起きていたか】自分で今日の授業をまとめてみよう。

- ・革命前のフランスはどのような社会だったか

- ・誰が、どのような不満を持っていたか

- ・どのような人達が革命の中心となっていくか

【Q.2 あなたが第三身分だとしたら、このような納税のやり方についてどのように思いますか】

A.

〈フランスの国内情勢〉

- ・ルイ14世以降の度重なる対外戦争 = 財政難

⇒国王ルイ16世の財政改革 = 【 】への課税

・・・特権身分【 】、第三身分【 】

- ・特権身分が全国三部会の開催を要求する。

全国三部会〈第一身分 300人 第二身分 300人 第三身分 600人〉

【Q.3 あなたが第三身分の代表なら、どのような決め方をすれば特権身分に課税できるか】

A.

・・・最終的に三部会は【 】で決めることになった。

【Q.4 絵の中の人々は、誰に対して、何を主張しているのでしょうか】

・・・左の絵の吹き出し部分に記入しましょう。

【まとめ：革命前のフランスで何が起きていたか】自分で今日の授業をまとめてみよう。

- ・革命前のフランスはどのような社会だったか

- ・誰が、どのような不満を持っていたか

- ・どのような人達が革命の中心となっていくか